

平成30年度  
山内図書館事業報告書

有隣堂グループ

2019/05

## 目 次

1. 山内図書館の基本方針	2
(1) 山内図書館の概要	2
(2) 指定管理者	2
(3) 山内図書館のコンセプト	2
2. 5年間の達成目標	3
3. 平成30年度の事業報告	3
(1) 運営目標と振り返り	3
(2) 具体的な取り組み	5
ア 利用者サービス	5
イ 業務運営	8
ウ 職員育成	9
エ 財務	10
4. 決算	11

別紙1. 平成30年度山内図書館自主企画事業実施事業月別一覧

別紙2. 平成30年度山内図書館学校連携活動報告

別紙3. 平成30年度山内図書館建築・設備保守管理実施表

## 1. 山内図書館の基本方針

### (1) 山内図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体4,433㎡)
延床面積	2,147㎡
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(197,258冊 平成29年3月末)と規模の大きい図書館です。平成22年度から26年度までの第一期は有隣堂グループが指定管理者として管理運営してまいりました。平成27年度から31年度の第二期についても引き続き有隣堂グループが指定管理者として運営してまいります。

### (2) 指定管理者

名称	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表団体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信裕
構成団体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生龍太郎
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。	

### (3) 山内図書館のコンセプト

## “地域”をサービスフィールドに！

### 生活密着図書館「Liferary」

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」のもとで「地域連携」という新たな課題が示されました。平成27年度から平成31年度の5年間は、積極的に地域との連携を図ります。民間ノウハウ・民間能力を十分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感あふれる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

## 2. 5年間の達成目標（平成27年4月～令和2年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の読書活動を推進し、読書活動を通じた“まちづくり”“ひとづくり”を進める。
- (2) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望や要請に応えられる蔵書構成に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行う。
- (3) 利用しやすい図書館づくりを促進する。

## 3. 平成30年度の事業報告

### (1) 運営目標と振り返り

横浜市立図書館において毎年策定される「横浜市立図書館の目標」及び「年間資料収集計画」の平成30年度版に基づき、横浜市立図書館の18館のうちの1館としての水準を維持し、さらなる向上をめざして、他の地域図書館と同様にネットワーク体制を支えるサービスを展開しました。

また、青葉区役所、市民利用施設、市民ボランティアと協働で、「青葉区民読書活動推進目標」の達成に向けて読書推進活動を展開しました。地域の情報拠点として市民の課題解決や読書活動に役立つ資料の収集を積極的に行うとともに、下表の運営目標に基づき、具体的な取り組みを進めました。

平成30年度は、若年者向けのサービスを強化し、読書離れを指摘されている中高生に積極的に働きかけました。協力して読書活動を推進している青葉区役所子ども家庭支援課の課題「中高生の居場所づくり」を図書館の事業に取り込んで企画しました。図書館の中のティーンズコーナーを充実させ、ホームページの「TEENs」のページで中高生向けの情報を発信しました。また、例年一般(大人)を対象に大型講演会を行ってきましたが、平成30年度は子どもを対象とし、人形劇団の公演を開催しました。

	平成30年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
利用者サービス	(ア)区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携した地域の読書活動推進	・地区センターまつり等への事業協力	2回	2回
		・読書ボランティアを対象とした読み聞かせ連続講座	1回	1回
		・修理ボランティア育成連続講座	1回	1回
		・地域との連携事業	15回	23回
		・学校連携事業	150回	126回

	平成30年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア利用者サービス	(イ)読書活動推進のための区内読書活動拠点のネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書関係団体交流会(青葉区役所との共催)</li> <li>・地区センターや地域ケアプラザ等区内における読書活動の支援</li> <li>・青葉区読書のイベントカレンダーの作成継続</li> </ul>	<p>1回</p> <p>2回</p> <p>12回</p>	<p>1回</p> <p>3回</p> <p>12回</p>
	(ウ)集会室のリニューアルによるおはなし会の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁紙とカーペットの交換</li> <li>・集会室新名称の募集と決定</li> </ul>	交換 公募にて新名称を決定	2月 やまちゃんおはなしの部屋に決定
	(エ)照明の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べものコーナーとやまちゃんおはなしの部屋照明のLED化</li> </ul>	追加事業	LED照明に変更
	(オ)展示スペースの拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童コーナーの2か所とカウンター向かいのスペースを展示用にリニューアル</li> </ul>	展示スペースの作成	3か所磁石利用が可能なタイプの壁紙に変更
	(カ)ティーンズ向けサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生向けワークショップ(青葉区役所共催)</li> <li>・ティーンズ向けホームページの更新</li> </ul>	<p>2回</p> <p>更新12回</p>	<p>3回</p> <p>更新15回</p>
	(キ)市民の必要とする情報収集と課題解決支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決支援自主企画事業開催数</li> <li>・大人のための検索機の使い方(新システム対応)</li> <li>・ウェブアクセシビリティ対応</li> </ul>	<p>10回</p> <p>追加事業</p> <p>追加事業</p>	<p>11回</p> <p>1回</p> <p>3月 ホームページ改修</p>
	(ク)障害者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子の購入</li> <li>・朗読CDの購入</li> <li>・障害者就労移行支援(訓練生受入)</li> </ul>	<p>1台</p> <p>5枚</p> <p>追加事業</p>	<p>1台</p> <p>0枚</p> <p>1名</p>
	(ケ)幅広い情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新</li> <li>・ホームページ、ブログ、SNSによる講座の紹介</li> </ul>	<p>適宜更新 各8回</p> <p>ホームページ</p> <p>ブログ</p> <p>FACEBOOK</p> <p>ツイッター</p>	<p>適宜更新</p> <p>19回</p> <p>14回</p> <p>7回</p> <p>23回</p>

	平成30年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
	(コ) 子ども向け事業の開催	・人形劇コロ団公演	追加事業	1回
イ 業務 運営	(ア) コンプライアンスの徹底と利用者満足度向上への取り組み	・コンプライアンス研修 ・コンプライアンス内部監査 ・人権研修	1回 1回 1回	1回 1回 1回
	(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底と、快適な図書館づくり	・事件・事故を想定した危機対応研修 ・地区センターとの合同防災訓練	1回 1回	1回 1回
	(ウ) 個人情報保護の考え方のスタッフ全員への周知徹底と、個人情報の適正管理	・個人情報保護教育 ・個人情報内部監査	2回 1回	2回 1回
ウ 職員 育成	(ア) スタッフの能力向上、意欲の維持向上のための教育・研修の実施	・商用データベース研修 ・接遇研修 ・アルバイト向け修理講座	1回 1回 1回	0回 1回 1回
エ 財務	(ア) 予算内の経費執行と、効率的な予算管理	・山内堂の売り上げ増	5%増	9%減

## (2) 具体的な取り組み

### ア 利用者サービス

#### (ア) 地域の読書活動推進

- ・青葉区役所、市民利用施設、市民ボランティアと協働で「青葉区民読書活動推進目標」の達成に向けて読書推進活動を展開しました。青葉区役所との共催によるティーンズ向け事業「あおばティーンズカフェ」(全3回)の開催、市民利用施設の情報を集約して作成する「読書のイベントカレンダー」の更新、市民利用施設主催の事業への協力等、地域と協力することにより、図書館の枠を越えたさまざまな事業を展開することができました。
- ・「読み聞かせ」および「本の修理」のボランティアを育成するために、それぞれ連続講座を開催しました。参加者のほとんどがボランティアとして活動を続けることを希望し、平成30年度内にボランティアとしても活動をスタートしています。
- ・青葉区役所と「読書活動推進事務局会議」を12回開催し、青葉区における読書活動推進について話し合い、各市民利用施設と協力して読書活動を行いました。
- ・学校連携担当を4名配置し、学校図書館への支援を積極的に行いました。学校司書からの相談を受け、学校図書館訪問も行っています。小学生は、図書館見学・まちたんけんの受け入れをしています(15件、467人)。中学生の職業体験は11件36人、高校生のインターンシップは3件12人を受け入れました。また、学校の授業で作成した読書関連の作品(絵本やポスター)をお借りして図書館で展示しました。

- ・学校司書、ボランティア向けの講座を10回開催し、延べ164人が参加しました。
- ・平成30年度は、27のキーワードを使って読書のコツや楽しみを共有する読書支援ツール「Life with Reading」の普及に努めました。青葉区小学校図書館教育研究会へ講師を派遣し、小学校教員向けの講座を開催するとともに、職業体験のメニューとしても取り入れました。引き続き学校へのビブリオバトルの普及活動も積極的にすすめました。

#### (イ) 読書活動拠点のネットワークを構築

- ・平成30年度は、青葉区役所と共催による読書関係団体交流会を開催しました。図書貸出施設のスタッフ、区内で活動する読書関係ボランティア、家庭文庫や地域文庫のメンバーに加えて、学校司書の参加が増えています。活動する母体の違いを乗り越え、読書活動を推進する上での工夫や悩みを共有することができました。
- ・青葉区役所や区内の市民利用施設におけるおはなし会等の事業に協力しました。山内図書館の職員を派遣するとともに、おはなしボランティアとおはなし会のコーディネイトを行いました。
  - ① 横濱本よみ亭ビブリオバトル&トークショー（6月）  
市民団体が開催するビブリオバトルにバトラーとして参加し、山内図書館の概要を紹介しました。
  - ② 小桜愛児園おはなし会（11月）  
読み聞かせボランティアをコーディネートし、おはなし会を開催しました。
  - ③ 山内地区センターまつり(11月)  
職員が出向いて、紙芝居を演じました。
  - ④ 美しが丘地域ケアプラザブックサロン(7月、8月、9月)  
職員が出向いて図書館の仕事について話をし、POPの講座を開催しました。

#### (ウ) 集会室のリニューアル

おはなし会の会場となっている集会室をリニューアルし、環境整備を行いました。

- ① 壁紙の貼り直し  
サーモンピンクの壁紙を用い、部屋全体が明るくなりました。
- ② 床の貼り直し  
経年劣化により、汚れが蓄積していたものを取り換えました。
- ③ 新名称の決定  
公募で新しい名前を「やまちゃんおはなしの部屋」に決めました。平成31年4月から新名称に切り替えます。

#### (エ) 照明の見直し

- ・館内照明の一部をLED照明に変更しました。照度を必要とする「調べ物コーナー」とリニューアルを行った「やまちゃんおはなしの部屋」の2カ所の照明を変更しました。

#### (オ) 展示スペースの拡大

- ・館内3カ所の壁紙をマグネット壁紙に張り替えました。危険防止のために画鋸を全廃したことにともない、展示しやすいマグネット壁紙に変更したことで、より広いスペースに展示ができるようになりました。

(カ) ティーンズ向けサービスの充実

・青葉区役所と共催で中高生向けに「あおばティーンズカフェ」を開催しました。飲み物をのみながら、講師の話の聞いたり、ワークショップで学んだりする連続3回のコースです。各回の内容は以下のとおりです。

① 第1回「記者に挑戦しよう!!」

取材の方法を学んで、青葉区の女子サッカーチーム「日体大 FIELDS 横浜」取材しました。取材結果を「あおばティーンズ通信」(壁新聞)にまとめて、山内図書館で展示しました。

② 第2回「Life with Reading 読書の新しい楽しみ方」

「Life with Reading」とは、本を読む楽しみやコツを共有するパターンランゲージ・ツール。27のキーワードをもとに本や読書の楽しみ方について、ディスカッションをし、本や仲間との新しい出会いを創出しました。

③ 第3回「小説家になるには」

『最後の秘境東京藝大』(新潮社)や『最後の医者』シリーズ(TOブックス)を書いた人気作家の二宮敦人氏に、小説家になるまでの道のりをおはなしいただきました。

・館内のティーンズコーナーでは、本の紹介などを含んだ壁面装飾を地元の高校生に担当してもらい、定期的に入替を行いました。高校生らしい感性にあふれたコーナーとなりました。

・ホームページの「TEENsのページ」を更新しました。おすすめ本のコーナーは、職員が毎月交替で中高生におすすめの本をアップロードしました。

(キ) 課題解決の支援

・「大人のための検索機 使い方講座」を開催しました。WebOpac のリニューアルに伴い、検索機の利用方法に関する問い合わせが多かったため、急遽開催することにしました。WebOpac の使い方を中心に、希望者にはパスワード・メールアドレス登録までの操作を一緒に行いました。スマートフォンの表示についても、問い合わせが多かった内容について画面を見ながら紹介し、積極的に疑問の解消に努めました。

・小学生のための科学講座「おもしろかがくのほんであそぼう」を夏休み期間に開催しました。身近な道具を使って、楽しく遊びながら科学に親しむ機会を創出しました。また、図書館の資料を紹介して、「知る」楽しさを体感してもらいました。

(ク) 障害者支援

・車椅子を1台購入しました。利用者に貸し出す際、車椅子の操作の説明が簡潔にできるように、職員全員で取扱の研修を行いました。また、実際に車椅子に載って館内を回り、動線の確認をしました。

・障害者の就労移行支援として訓練生を受け入れ、1～3月にかけて週1回、図書の簡易修理や書架整理をお願いしました。作業の際にはサポート体制を整え、担当者が毎回作業日誌を確認するなど、自信をもって就労に臨める一助となるよう支援しました。



#### (ケ) 幅広い情報発信

- ・ホームページ、ブログのほか、facebook・ツイッターなどソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を用いて広報の拡充を図りました。メールマガジンは、情報を得る手段がSNSに移行していること、登録者数が頭打ちになっていることを勘案し、平成30年度末で配信を終了しました。
- ・地域のミニコミ誌への情報提供を定期的に行いました。
- ・地域のコミュニティFMに出演して、山内図書館の事業やサービスについて広報しました。
- ・図書取次サービスのチラシを区役所から転入者に配布してもらい、新しく住み始めた人に広く取次サービスを知ってもらうよう努めました。

#### (コ) 子ども向け事業

- ・毎年実施している大型講演会は大人対象の企画が続いていたことから、平成30年度は子どもを対象に企画を再考しました。11月にコロソ団による人形劇を開催しました。終了後、演者と触れ合う時間を設け、子どもたちに楽しんでもらうことができました。読み聞かせボランティアにも参加してもらいましたが、「勉強になった」と好評でした。

#### (サ) その他:書店ノウハウの活用

- ・慶應義塾大学と有隣堂が共同開発した読書支援ツール「Life with Reading」を活用して読書活動を推進しました。
  - ① 創造的読書を楽しもう「Life with Reading」～読書のコツや楽しみ方を伝える27個のことば～（5月）一般対象、参加者23名
  - ② 青葉区学校図書館研究会・小学校（7月）教職員対象、参加41名
  - ③ 職業講話・中学校（8月）中学生対象 参加32名
  - ④ あおばティーンズカフェ 第2回（9月）ティーンズ対象、参加9名
  - ⑤ 青葉区学校図書館研究会・中学校（11月）教職員対象、参加25名上記のほか、中学生の職業体験の体験メニューにも組み込みました。

### イ 業務運営

#### (ア) コンプライアンスの徹底

- ・職員・アルバイト全スタッフが、有隣堂のエシックスカードを常時身に着け、企業行動指針を復唱しました。また、コンプライアンス内部監査の実施により、法令遵守と倫理の徹底を図りました。
- ・ホームページで、「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「図書館利用者満足度調査報告書」「セルフモニタリング」「横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書」「山内図書館の目標」といった山内図書館の運営情報を公開しました。
- ・コンプライアンスの徹底を図るために、人権尊重研修を行いました。車椅子を新たに購入した際に、スムーズに使用ガイドができるように研修を行いました。併せて、視覚障害者に対するガイドヘルプの研修を行いました。

(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底

- ・安全目安箱を設置し、設備・備品等の不具合や、働く上での課題をスタッフから無記名で投書してもらうようにしました。
- ・施設管理のスタッフが図書館内を1日3回、図書館職員が1日5～7回巡回して防犯および安全管理に努めました。
- ・職員とアルバイトスタッフ(リーダー、サブリーダー)で月1回話し合いをもち、安全衛生を含めた課題を話し合い、解決につなげました。
- ・併設の山内地区センターと合同で防災訓練を行いました。併せて応急手当の講習を受講しました。

(ウ) 個人情報の適正管理

横浜市立図書館個人情報保護に関する方針及び有隣堂個人情報保護方針に基づき個人情報の収集・利用・管理について、適切な維持管理を行うよう努めました。平成30年度は個人情報の流出事故はありませんでした。

次に挙げる個人情報保護に関する教育、監査、点検を実施しました。

- ・テスト(個人情報保護全社教育確認シート記入)の実施 年2回
- ・有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査 年1回
- ・個人情報棚卸(リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策) 年2回

(エ) その他

- ・有隣堂本部と館長・副館長による職員の評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげました。
- ・職員会議を毎週火曜日に1時間開催し、各職員間で情報の共有化を図るとともに、課題については解決策を討議しました。(平成30年度開催数46回)
- ・建築物・建築設備ともに平成30年度山内図書館建築・設備保守管理表に基づき点検を実施しました(別紙3)。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前の予防保全を行いました。
- ・施設管理者点検の点検結果に基づき、優先順位をつけ、計画的な修繕を実施しました。

ウ 職員育成

(ア) スタッフへの教育・研修

- ・職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会主催の研修やその他の研修に参加し、それぞれの専門性を向上させました(16回)。
- ・職員およびアルバイトスタッフ全員を対象とした内部研修を実施しました(6回)。  
① 接遇 ②コンプライアンス ③防災 ④個人情報保護 ⑤人権 ⑥危機管理
- ・アルバイトスタッフの希望者を対象に、修理のステップアップ講座を開催しました。
- ・研修に参加した後には、必ず資料を添付した報告書を作成し、これを回覧することにより、職員全員への情報共有を図りました。研修によっては、職員会議において受講者が研修内容を職員に伝えました。

エ 財務

(ア) 効率的な管理

- ・予算内に経費を抑え、効率的に管理しました。

(イ) その他

- ・山内堂では、自主企画事業「あざみ野ブックカフェ」等と連動した書籍の販売を積極的に行いました。目標売上(29年度見込みの5%UP)には届きませんでした。28年度までの売上ベース並みとなりました。30年度は著名作家の大型講演会に代わって子どもを対象とした人形劇を実施し、著作の書籍販売がなかったため、売上額が29年度よりも減少したと考えます。

## 4. 決算

### 平成30年度 「横浜市山内図書館」 収支決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	176,350,100		176,350,100	176,350,100	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	210,000		210,000	183,501	26,499	平成29年度見込みの9%down
自主事業収入			0	1,100	△ 1,100	レクリエーション保険
雑入	500,000	0	500,000	599,162	△ 99,162	
自動販売機手数料等	500,000		500,000	579,792	△ 79,792	
その他（ ）			0	19,370	△ 19,370	やまちゃんひろば保育料等
収入合計	177,060,100	0	177,060,100	177,133,863	△ 73,763	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	80,730,000	0	80,730,000	79,110,384	1,619,616	
給与・賃金	68,600,000		68,600,000	67,834,078	765,922	
社会保険料	7,370,000		7,370,000	6,874,733	495,267	
通勤手当	4,500,000		4,500,000	4,149,573	350,427	
健康診断費	260,000		260,000	252,000	8,000	
事務費	3,979,100	0	3,979,100	4,047,655	△ 68,555	
旅費	150,000		150,000	171,406	△ 21,406	
消耗品費	1,370,100		1,370,100	1,225,201	144,899	
通信費	600,000		600,000	509,537	90,463	
使用料及び賃借料	12,000		12,000	10,548	1,452	
備品購入費	200,000		200,000	360,165	△ 160,165	
雑誌・新聞購入費	1,500,000		1,500,000	1,651,838	△ 151,838	新聞値上げ
施設賠償責任保険	120,000		120,000	117,960	2,040	
職員等研修費	27,000		27,000	1,000	26,000	
事業費	11,536,800	0	11,536,800	11,426,477	110,323	
自主事業費	4,800,000		4,800,000	4,687,277	112,723	WEBアクセシビリティ対応含む
自主事業費（図書取次サービス）	6,736,800		6,736,800	6,739,200	△ 2,400	
管理費	54,274,200	0	54,274,200	53,033,797	1,240,403	
光熱水費	22,143,000	0	22,143,000	20,643,757	1,499,243	
電気料金	12,000,000		12,000,000	12,988,005	△ 988,005	
ガス料金	5,000,000		5,000,000	3,602,920	1,397,080	
水道料金	5,143,000		5,143,000	4,052,832	1,090,168	
清掃費	10,076,400		10,076,400	10,076,400	0	
修繕費	1,500,000		1,500,000	1,964,908	△ 464,908	LED改修等
機械警備費	864,000		864,000	864,000	0	
設備保全費	18,490,800	0	18,490,800	18,598,680	△ 107,880	
空調衛生設備保守	2,289,600		2,289,600	2,289,600	0	
消防設備保守	280,800		280,800	388,680	△ 107,880	12条点検追加（防火設備定期検査）
電気設備保守	2,067,200		2,067,200	2,067,200	0	
害虫駆除清掃保守	124,200		124,200	124,200	0	
建築設備保全費	12,757,000		12,757,000	12,757,000	0	
その他保全費	972,000		972,000	972,000	0	飲料水・ウオータークーラー水質検査、植栽剪定・草刈、煤煙測定
共益費	1,200,000		1,200,000	886,052	313,948	集会室リニューアル、館内サイン刷新等
公租公課	6,540,000		6,540,000	6,832,000	△ 292,000	
事務経費	20,000,000		20,000,000	22,000,000	△ 2,000,000	本部支援費（人件費、システム経費等）、研修教材費
支出合計	177,060,100	0	177,060,100	176,450,313	609,787	
差引	0	0	0	683,550	△ 683,550	